

乙 第 号

浅井 英树 学位请求论文

审 查 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

報告番号	乙第号	氏名	浅井 英樹
論文審査担当者	委員長	教授	西尾 健治
	委員	教授	川口 昌彦
	委員	教授	奥地 一夫
	(指導教員)		

主論文

Quality of dispatch-assisted cardiopulmonary resuscitation by lay rescuers following a standard protocol in Japan: an observational simulation study

日本の標準プロトコールに従った口頭指導下での非医療従事者の心肺停止蘇生法の質の評価:シミュレーション観察研究

Hideki Asai, Hidetada Fukushima, Francesco Bolstad, Kazuo Okuchi

Acute Medicine & Surgery

11 October 2017 DOI: 10.1002/ams2.315

2017年10月発行

論文審査の要旨

先進国において突然の心停止は死亡の主たる原因である。心停止を目撃した一般市民により心肺蘇生法（バイスタンダーCPR）が適切に行われることが、蘇生率や社会復帰率を上げるのに重要である。しかし、多くの一般市民は心肺蘇生法の知識はなく、119番通報時に司令員が電話で心肺蘇生法を指導している。しかし、音声のみで指導するため、どのような胸骨圧迫が行われているかに関しての知見はほとんどない。

本研究では、一般市民23人を対象に口頭指導シミュレーションを通して胸骨圧迫の質の評価を行っている。BLS講習の経験の有無で2群に分けると、「胸の真ん中を押してください」という指示では未経験群は40.0%しか正確な場所を圧迫できないことが分かった（経験群は84.6%が正確な場所を圧迫： $p=0.026$ ）。圧迫のテンポは両群とも100/分以上で行えたが、深さに関しては両群とも33mmと推奨される50-60mmに及ばなかった。本研究で明らかとなった問題点を改善するプロトコール（みぞおちを押さないで下さいと指摘するなど）を使用して同様のシミュレーションを行ったところ、上記問題点は改善傾向を示した。

本研究は、実際には検証できない口頭指導による心肺蘇生法の質の評価を、シミュレーションを通して検討し、現状の口頭指導の問題点、今後の改善点についての新知見を見いだしており、院外心肺停止症例の社会復帰率向上に寄与するものと考えられ、救急医学の発展に寄与し、博士（医学）の学位に相当するものと考えられる。

参 考 論 文

1. Implementation of a dispatch-instruction protocol for cardiopulmonary resuscitation according to various abnormal breathing patterns: a population-based study.

Hidetada Fukushima, Masami Imanishi, Taku Iwami, Hironori Kitaoka, Hideki Asai, Tadahiko Seki, Yasuyuki Kawai, Kazunobu Norimoto, Yasuyuki Urisono, Kenji Nishio, Kazuo Okuchi
Scand J Trauma Resusc Emerg Med. Sep17;23:64. 2015

2. 標準治療抵抗性の血栓性血小板減少性紫斑病に対するリツキシマブ投与のタイミングについての考察

浅井英樹、福島英賢、北岡寛教、川井廉之、西尾健治、松本雅則、奥地一夫
日本救急医学会雑誌 26:152-159, 2015

3. Ratio of von Willebrand factor propeptide to ADAMTS13 is associated with severity of sepsis.

Hidetada Fukushima, Kenji Nishio, Hideki Asai, Tomoo Watanabe, Tadahiko Seki, Hideo Matsui, Mitsuhiko Sugimoto, Masanori Matsumoto, Yoshihiro Fujimura, Kazuo Okuchi
Shock. 39:409-14, 2013

4. A case of abdominoplasty after removal of giant ovarian cyst

Masamitsu Kuwahara, Akira Taniguchi, Satoshi Yurugi, Yuji Yamanaka, Hideki Asai, Chikako Sasaki, Takashi Nakanishi

Plast Reconstr Surg Glob Open. 8;2(8):e195, 2014

5. Out-of-hospital cardiac arrest caused by acute intoxication.
Hidetada Fukushima, Tomoo Watanabe, Hideki Asai, Noritaka Yada,
Shingo Ito, Tadahiko Seki, Toru Ueyama, Yasuyuki Urizono, Kenji
Nishio, Kazuo Okuchi
Chudoku Kenkyu. 23:41-46, 2010
6. 診断に難渋し繰り返し大量下血を来した巨大多発空腸憩室の1例
芝本彰彦、浅井英樹、瓜園泰之、福島英賢、川井廉之、奥地一夫
日本救急医学会雑誌 27 : 51-55, 2016
7. プロテインS欠乏症を背景とする上腸間膜静脈血栓症によって心肺停止に
至った1救命例
原悠也、浅井英樹、瓜園泰之、川井廉之、下林孝好、奥地一夫
日本救急医学会雑誌 27 : 256-263, 2016
8. 集中治療室における下痢症状の実態調査 多施設共同前向き観察研究
浅井英樹、福島英賢、高野啓佑、渡邊知朗、伊藤真吾、関匡彦、瓜園
泰之、西尾健治、奥地一夫
日本救命医療学会雑誌 25 : 33-38, 2011

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに院外心肺停止患者の社会復帰率向上の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 30 年 3 月 6 日

学位審査委員長

総合臨床病態学

教 授 西尾 健治

学位審査委員

侵襲制御・生体管理医学

教 授 川口 昌彦

学位審査委員（指導教員）

救急病態制御医学

教 授 奥地 一夫